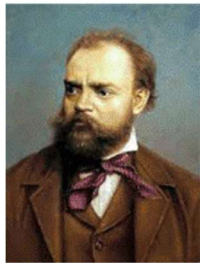


オペラ「アイーダ」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「アイーダ」の作曲家をフルネームで答えなさい。

問2 「アイーダ」の作曲家の肖像画を、下のA～Dから一つ選び○で囲みなさい。



A



B



C



D

問3 「アイーダ」の作曲家の生まれた国を答えなさい。

問4 「アイーダ」の作曲家の活躍した音楽的時代を答えなさい。

問5 「アイーダ」の作曲家とおなじ音楽的時代に活躍した作曲家を次の中から全て選び○で囲みなさい。

ア：ショパン

イ：バッハ

ウ：ベートーヴェン

エ：シューベルト

オ：モーツァルト



問6 「アイダ」の演奏形態を答えなさい。

問7 「アイダ」は全部で何幕で構成されているか答えなさい。

問8 「アイダ」および「アイダ」の作曲家について説明している次の説明のうち、正しいものを全て選び○で囲みなさい。

ア：「アイダ」の初演は1871年である。

イ：「アイダ」の作曲家が初めてオペラを作曲したのは30歳の時である。

ウ：「アイダ」の作曲家の代表曲として、「椿姫」「蝶々夫人」がある。

エ：「アイダ」はエジプトからの依頼で作曲された。

オ：「アイダ」は、古代の衣装や建築をイメージにして作られている。

カ：「アイダ」は、愛し合う二人の「幸せな恋物語」として知られている。

問9 「アイダ」の作曲家の作品であるものを次の中から全て選び○で囲みなさい。

ア：ナブッコ

イ：魔笛

ウ：リゴレット

エ：オテロ



問10 オペラについて説明している次の文の（ア）～（ケ）に当てはまる言葉を答えなさい。

オペラは、（ア）を中心として音楽で物語を進めていく舞台芸術である。音楽をはじめとして、文学・演劇・舞踊・（イ）などのさまざまな要素をもつ（ウ）である。

（ア）を中心に、ほとんどの場合伴奏として（エ）が演奏される。

オペラが生まれたのは（オ）世紀末のイタリアの（カ）である。

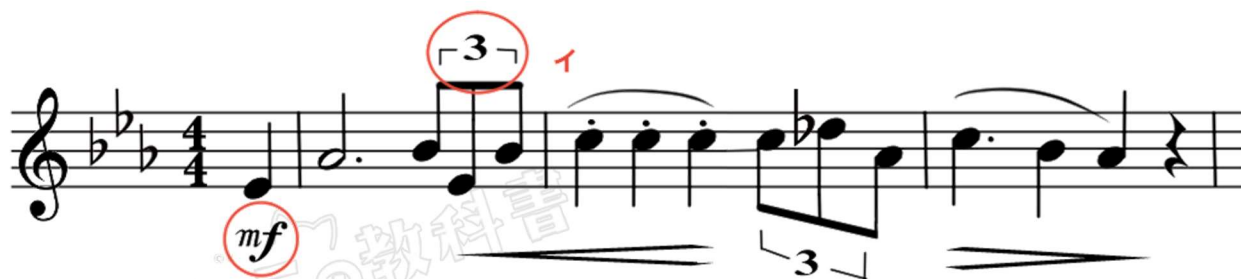
オペラの特徴である「話すような歌」を（キ）といい、叙情的で特徴のある独唱を（ク）という。

オペラは、日本語では（ケ）と呼ばれる。

- | | |
|-----|-----|
| 【ア】 | 【イ】 |
| 【ウ】 | 【エ】 |
| 【オ】 | 【カ】 |
| 【キ】 | 【ク】 |
| 【ケ】 | |



下の楽譜は、軍隊が戦いから帰ってきた場面のものである。この楽譜について問いに答えなさい。



問 | 1 この場面で演奏される特徴的な楽器の名前を答えなさい。

問 | 2 問 | 1 の楽器の種類を答えなさい。

問 | 3 この楽譜の場面は、「アイーダ」の第何幕で登場するか答えなさい。

問 | 4 この楽譜の曲はなんと呼ばれているか。曲名を答えなさい。

問 | 5 楽譜の記号アと記号イの名前をそれぞれ答えなさい。

【記号ア】

【記号イ】

問 | 6 記号イのついている八分音符3つは何音符と同じ長さになるか答えなさい。

問 | 7 「アイーダ」の舞台となった国の名前を答えなさい。



問18 「アイダ」に登場する次の人物の名前をそれぞれ答えなさい。

- ア：エジプト国王の娘
- イ：エジプトの将軍
- ウ：エチオピア国王の娘
- エ：エチオピア国王

【ア】

【イ】

【ウ】

【エ】

問19 「アイダ」に登場する次の人物の声種をそれぞれ答えなさい。

- ア：エジプト国王の娘
- イ：エジプトの将軍
- ウ：エチオピア国王の娘
- エ：エチオピア国王

【ア】

【イ】

【ウ】

【エ】

問20 次の声種を、高い順に並び替えなさい。

- ア：バス
- イ：ソプラノ
- ウ：アルト
- エ：バリトン
- オ：メッツオソプラノ
- カ：テノール

高い → → → → → 低い



問21 「アイダ」の物語として正しい順番になるように、次の場面の内容を並び替えなさい。

ア：戦いに勝ったエジプト軍が凱旋する。

イ：捕虜であるエチオピア王女とエジプトの将軍が恋に落ちる

ウ：エジプトの将軍が裁判の結果地下牢に閉じ込められる。愛を誓ったエチオピア王女とともに息を絶える。

エ：エチオピア王女がエジプトの将軍からエジプト軍の機密を盗んだ結果、エジプトの将軍は捕らえられる。

→ → →

問22 「アイダ」の中の曲の説明をしている次のア・イ・ウの文を読んで、それぞれがどの曲を説明しているのか、正しい組み合わせをカ・キ・クから選ちなさい。

【曲の説明】

ア：テノールの独唱で、「戦いに勝利したら、愛しい人を故郷へ帰してあげよう」と、愛する人を思いながら朗々と歌い、気持ちを高めている曲である。

イ：ソプラノの独唱で、ゆったりとした切ない旋律で、懐かしみながらも手の届かない場所への想いを歌い上げている曲である。

ウ：ソプラノとテノールの二重唱で、息絶えていく悲しみの中で、愛しい人と再会できた喜びを噛みしめながら穏やかに歌う曲である。

【曲名】

カ：おお、我が故郷

キ：さらばこの世よ、涙の谷よ

ク：清きアイダ

【ア】

【イ】

【ウ】



問23 「アイーダ」の中の次のア・イ・ウ・エの曲を、演奏される順番に並び替えなさい。

ア：おお、我が故郷

イ：清きアイーダ

ウ：凱進行進曲

エ：さらばこの世よ、涙の谷よ

→ → →



オペラ「アイーダ」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 ジュゼッペ・ヴェルディ

【解説】「ヴェルディ」や「G・ヴェルディ」だけでも答えられれば良い学校もあるが、中には「フルネーム」で答える必要がある学校もあるので、余裕があれば覚えておこう。

問2 D

【解説】Aはドボルザーク、Bはビゼー、Cはムソルグスキー。

問3 イタリア

問4 ロマン派

問5 ア・エ

【解説】

バッハはバロック時代、ベートーヴェンとモーツァルトは古典派。ショパンとシューベルトはロマン派で「アイーダ」の作曲者であるヴェルディとおなじ時代に活躍した作曲家である。

問6 オペラ

問7 全4幕



問8 ア・エ・オ・キ

【解説】イについて：「アイダ」の作曲家であるヴェルディが初めてオペラを作曲したのは25歳の時である。

ウについて：ヴェルディの代表作として「椿姫」は正しいが、「蝶々夫人」はプッチーニの作品である。

カについて：「アイダ」は、「悲劇の恋物語」として知られている。

※備考：「アイダ」はスエズ運河の開通を記念して建てられた歌劇場の依頼によって作られたオペラである。という内容について問題を出す学校もあるようだが、これは正確とは言い切れない情報でもあるので、問題としては取り扱っていない。

問9 ア・ウ・エ

【解説】イの魔笛は、モーツァルトの作品。

問10 【ア】 歌（声楽）

【ウ】 総合芸術

【オ】 16

【キ】 レチタティーヴォ

【ケ】 歌劇

【イ】 美術

【エ】 オーケストラ

【カ】 フィレンツェ

【ク】 アリア

問11 アイダトランペット

問12 金管楽器

問13 第2幕

【解説】上の楽譜は、第2幕のエジプト軍が勝利して凱旋する際に演奏される凱進行進曲である。

問14 凱進行進曲



問 1 5 【ア】 メッツォフォルテ (メゾフォルテ・メZZフォルテ)
【イ】 三連符

問 1 6 四分音符

【解説】 記号イの三連符とは、2等分すべき音符を、3等分したもの。
四分音符を2等分すると、八分音符2つになるが、三等分しているので八分音符
3つになっている。つまり、三連符によって三等分された八分音符が3つ
集まると、もとの四分音符と同じ長さになる。

問 1 7 (古代) エジプト

問 1 8 【ア】 アムネリス 【イ】 ラダメス
【ウ】 アイダ 【エ】 アモナズロ

問 1 9 【ア】 メッツォソプラノ (メゾソプラノ・メZZソプラノ)
【イ】 テノール 【ウ】 ソプラノ
【エ】 バリトン

問 2 0 イ→オ→ウ→カ→エ→ア

問 2 1 イ→ア→エ→ウ

問 2 2 【ア】 ク 【イ】 カ 【ウ】 キ

問 2 3 イ→ウ→ア→エ

【解説】 「清きアイダ」は、第一幕で歌われるラダメスのアリア、
「凱進行進曲」は第二幕のエジプト軍が戦いに勝利して凱旋する際に演奏される
曲、「おお、我が故郷」は第三幕で歌われるアイダのアリア、「さらば
この世よ、涙の谷よ」は第四幕でラダメスとアイダによって歌われる二重唱。

